

5M 屋外ドーム 赤外ネットワークカメラ

N-C68550R3



TRIFORA

目次

使用上のご注意	4
各部の名称とはたらき	8
設置のしかた	14
設置上のご注意	14
天井直付け	15
壁直付け	22
露出配線	25
クリーンルーム	31
ポール取り付け	38
天井埋込金具を使用する	47
壁取付金具を使用する	57
オプションケーブルを使用する	67
接続のしかた	71
接続端子について	71
LAN 端子 (LAN ケーブル) の接続と防水処理	72
音声/接点/電源の接続と防水・絶縁処理	75
電源接続の確認	77
調整のしかた	79
スマートフォンで調整する	79
PC で調整する	91

工場出荷時設定に戻す	93
故障かな？と思ったら	95
仕 様	98
付属品	98
別売品	98
アフターサービスについて	99

使用上のご注意

[使用環境に関して]

- 温度が $-10 \sim +50^{\circ}\text{C}$ 、湿度が 90% 以下（ただし結露のないこと）の場所で使用してください。

[設置に関して]

- 本機は気密性の高い構造のため、内部に湿気がたまりドームカバー内がくもることがあります。湿度の低いときに設置してください。
- 振動の多いところには設置しないでください。また、本機は車載用ではありません。車輛や船舶などには設置しないでください。
- 強度が十分にあるコンクリートの壁面などに取り付けてください。特にポールへの取り付けは、揺れが大きくなることのないよう、ポールの強度には十分に配慮し、揺れや取り付け強度に問題ない高さに確実に取り付けてください。また、風を受けやすいものと同一のポールに設置しないでください。
- 天井、壁面、ポールに取り付けるためのボルト、ナット類は付属されていません。取り付け場所の材質および強度、総重量などを考慮し、十分な強度が得られるものを別途ご用意ください。
- 海上や海岸、粉塵の多い場所、腐食性ガスが発生する場所、可燃性雰囲気中などの特殊環境の場所、プールなど薬剤を使用する場所には設置しないでください。
- 設置する際は落下を防止するため、設置補助ワイヤーを取り付けてから行ってください。

- ケーブルを配線するときは、電気製品（蛍光灯）など、他の配線には近づけないでください。近づけて配線すると、画質の低下をまねくことがあります。このようなときは、配線を離してください。
- テレビの送信アンテナやモーター・トランスなどの強い電界や磁界の近くでお使いになると、モニターの画面がゆがんだり、揺れたりすることがあります。このような場合は、ケーブル専用の薄鋼電線管を設けて通線してください。
- ケーブルが傷つかないように設置し、張りを考慮し余裕を確保してください。
- 本機を冷気があたる場所やエアコンの吹き出し口の近くに取り付けしないでください。ドームカバーがくもる原因となります。
- レンズは精密部品です。レンズ本体にできるだけ触れないようにしてください。故障の原因となります。
- 本機を住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させるおそれがあります。その際は、本機の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされる場合があります。
- 本機は電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続できません。本機をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどを経由し接続してください。

[使用に関して]

- レンズ面を太陽や強い照明・反射に向けしないでください。CMOS センサー内部の色フィルターが劣化して画像が変色することがあります。

- 強いショックや振動を与えないでください。故障・破損・浸水の原因となります。
- 本機を清掃する際は、必ず電源を切ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。ベンジン・シンナー・アルコール類・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となります。
- レンズ面にほこりがついた場合は、カメラ用のブローヤやレンズクリーニングペーパーで軽く清掃してください。
- 本機は CMOS センサーを採用しているため、画面の中を速く動く被写体を映した場合や、本機を旋回台に載せて高速に動かした場合などに、画像がゆがむことがあります。

[親水コートについて]

- 溶剤・薬品を扱う場所や、蒸気・油分の多い場所に設置しないでください。コーティングがはがれることがあります。
- 親水コートの効果により、ドームカバーの真下にしずくが溜まりやすくなり、映像の一部がゆがむことがあります。
- ドームカバーに直接触ったり、乾いた布などで拭かないでください。親水コートの効果が弱くなります。
- 親水コートの効果が弱くなった場合、ドームカバーの交換（有償）が必要です。販売店へお問い合わせください。
- ドームカバーを清掃するときは、以下の点に注意して行ってください。
 - ・きれいな水をかけて洗い流してください。汚れが落ちないときは、やわらかいスポンジや布に水を含ませて、やさしく拭いてください。乾いた布などで拭かないでください。

- ベンジン・シンナー・アルコール類・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。アルカリタイプ・酸性タイプなどすべての洗剤、ワックスや研磨剤の入った洗剤は絶対に使用しないでください。親水性能が低下したり、親水コートがはがれることがあります。
- 清掃に使うスポンジや布は、新品であってもコーティングの効果を低下させる不純物が付着している場合がありますので、食器用中性洗剤で洗ってから使用してください。
- 霧吹きは、潤滑剤など不純物を含むものがあり、コーティング効果を低下させる場合があります。霧吹きはできるだけ使用しないでください。

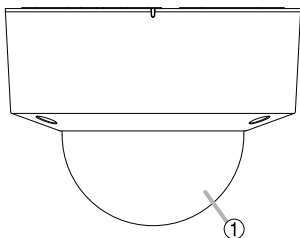
[セキュリティ対策について]

映像・音声情報、認証情報（ユーザー名、パスワード）、通知メール情報、サーバー情報などをネットワーク上に漏えいさせないため、ユーザー認証でアクセスを制限する、HTTPS 機能でアクセスを暗号化するなどの対策を実施してください。

- ユーザー認証でアクセスを制限する方法は、取扱説明書（設定編）第 6 章の「セキュリティ」をご覧ください。
- HTTPS 機能でアクセスを暗号化するためには、「Web サーバー動作モード」を「HTTPS」に設定してください。詳しくは取扱説明書（設定編）の第 8 章の「HTTPS」をご覧ください。

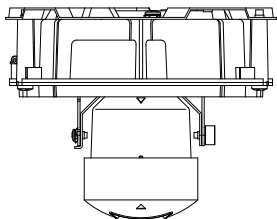
各部の名称とはたらき

[ドームカバー付き正面図]

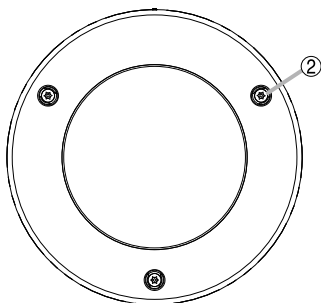


① ドームカバー

[ドームカバーを外した正面図]

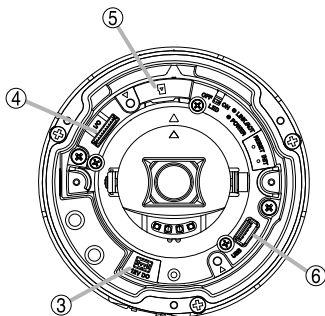


[ドームカバー付き底面図]



② ドームカバー固定ねじ

[ドームカバーを外した底面図]



③ DC12 V 電源入力コネクタ

オプションケーブル N-OP600CA (別売品) を接続します。DC12 V 電源は AC アダプター AD-1210-B (別売品) を使用してください。

④ I/O コネクタ

オプションケーブル N-OP600CA (別売品) を接続します。

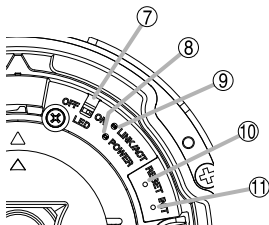
⑤ microSD カードスロット

microSD カードを「カチッ」と音がするまで挿入してください。

⑥ USB 端子

設置時のネットワーク接続に使用します (P. 79 「調整のしかた」)。設置時のみ使用する端子です。

[LED、スイッチ類の拡大図]

**⑦ LED 表示スイッチ**

LED の表示／非表示を設定します。

⑧ 起動 LED [POWER] (緑)

LED 表示スイッチが [ON] の場合

点灯：起動状態

点滅：起動中、ファームウェア書き換え中

⑨ LINK/ACT LED (緑)

LED 表示スイッチが [ON] の場合

点灯：ネットワーク接続正常

点滅：データ送受信中

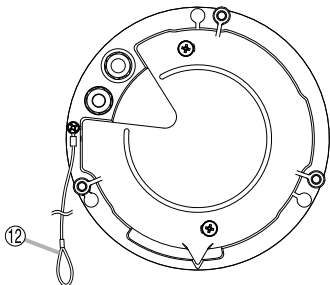
⑩ 再起動スイッチ [RESET]

本機を再起動します。

⑪ 初期化スイッチ [INIT]

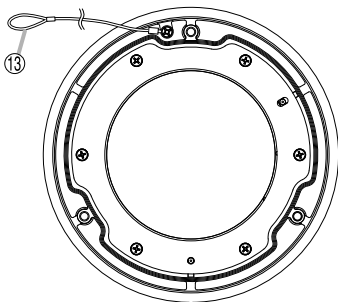
工場出荷時の設定に戻します。(P. 93)

[カメラ本体上面図]



⑫ 設置補助ワイヤー

[ドームカバー内側]



⑬ 設置補助ワイヤー

設置のしかた

設置のしかた	14
設置上のご注意	14
天井直付け	15
壁直付け	22
露出配線	25
クリーンルーム	31
ポール取り付け	38
カメラ配線ボックスを使用して取り付ける場合 ...	39
壁取付金具を使用して取り付ける場合	44
天井埋込金具を使用する	47
壁取付金具を使用する	57
オプションケーブルを使用する	67

設置のしかた

設置上のご注意



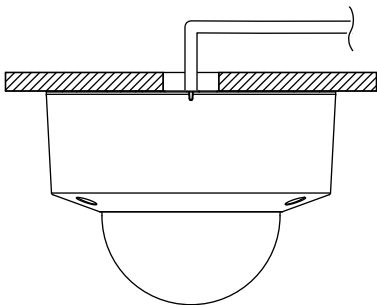
警告

本機の重量は 1.2 kg あります。取付位置の強度を確保してください。落下によるけがの原因となります。

- 強度のある天井（コンクリート天井など）に取り付けてください。
- 設置が完了するまでドームカバーについている保護シートを取り外さないでください。取り付け中に保護シートを取ると、ドームカバーに傷をつける場合があります。
- カメラを天井に埋め込んで使用する（カメラ露出部分を小さくする）場合は、カメラ天井埋込金具 C-BK802U（別売品）を使用してください。
- カメラを壁面に取り付けて使用する場合は、カメラ壁取付金具 C-BK802W（別売品）を使用してください。
- カメラを天井から吊り下げて使用する場合は、カメラ天井吊下金具 C-BK800P（別売品）を使用してください。
- カメラをポールに取り付けて使用する場合は、カメラ壁取付金具 C-BK802W（別売品）、屋外カメラポール取付金具 C-BC450PM（別売品）およびポール取付バンド YS-60B（別売品）を使用してください。

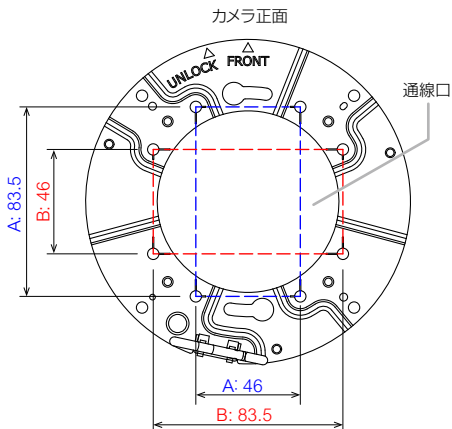
天井直付け

[取付例]



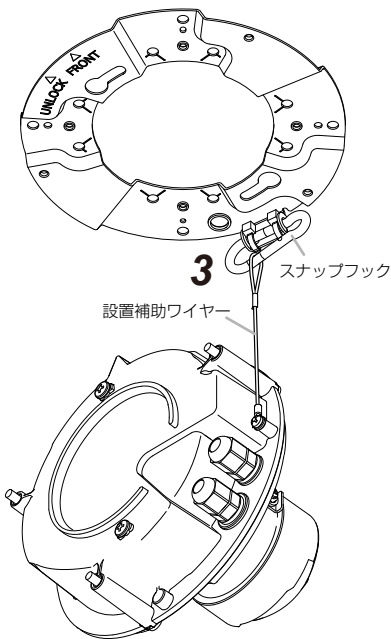
[取付手順]

- 1 天井に直径30 mmの穴をあけ、カメラに接続するケーブルを天井から引き出す。
- 2 天井から引き出したケーブルをベース金具の通線口に通して、ベース金具を天井に固定する。
 - AまたはBの4カ所の穴を使用してください。
 - 取付ねじは付属していません。取付ねじは、呼び径4のものを使用してください。設置状況に応じた最適な長さで強度の確保できるものを選定してください。

**ご注意**

天井の強度が十分確保できることを確認したうえで設置してください。

- 3** カメラ本体用設置補助ワイヤーをベース金具のスナップフックに取り付ける。

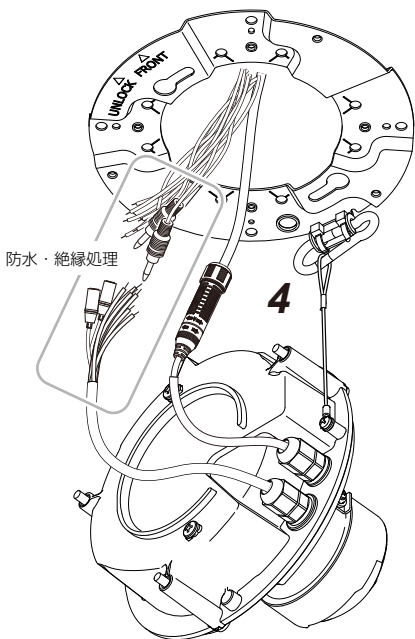


4 天井から引き出したケーブルをカメラに接続する。

ケーブルは天井裏に押し込んでください。

ご注意

接続部に自己融着タイプの絶縁テープを巻き、ケーブルの防水・絶縁処理をしてください。処理方法については、P. 75「音声／接点／電源の接続と防水・絶縁処理」を参照してください。



5 カメラ本体をベース金具に取り付ける。

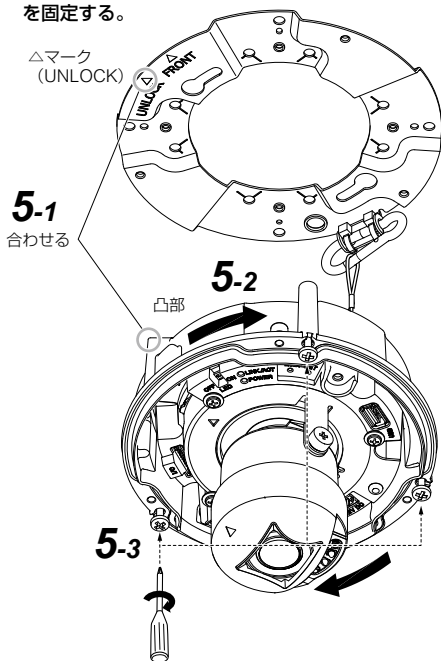
5-1 カメラ本体の凸部とベース金具の△マーク (UNLOCK) の位置を合わせる。

5-2 カメラ本体を時計方向に回転させて仮固定する。

ご注意

設置補助ワイヤーを挟み込まないように注意してください。

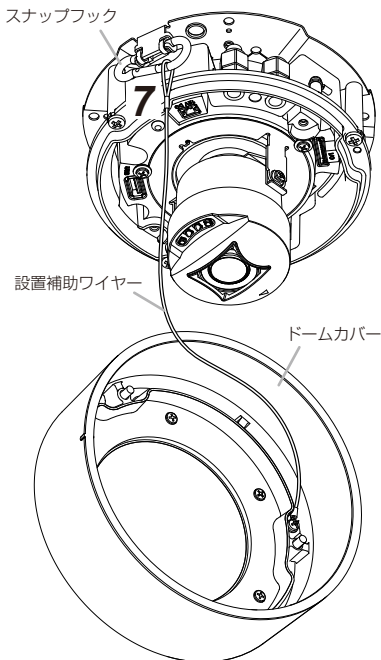
5-3 ねじ (3カ所) をしっかりと締め付け、カメラ本体を固定する。



6 カメラの画角とフォーカスを調整する。

カメラの調整については、P. 79「調整のしかた」を参照してください。

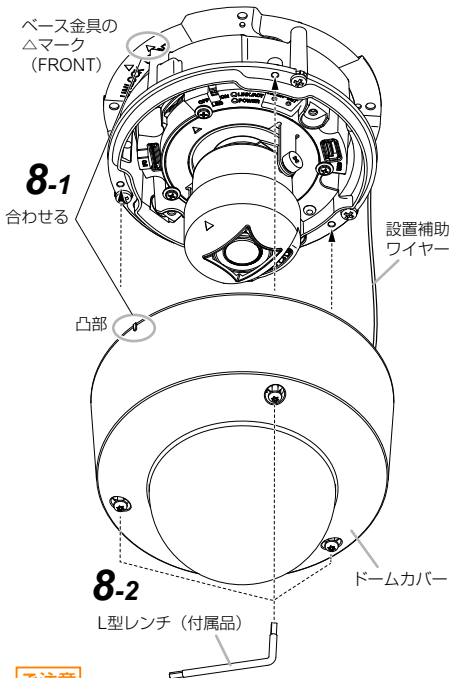
7 ドームカバー用設置補助ワイヤーをベース金具のスナップフックに取り付ける。



8 ドームカバーをカメラ本体に固定する。

8-1 ドームカバーの凸部と、ベース金具の△マーク (FRONT) の向きを合わせる。

8-2 付属のL型レンチでドームカバーのねじ (3カ所) を締め付ける。



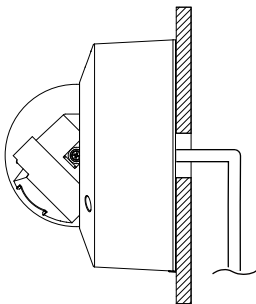
ご注意

設置補助ワイヤーを挟み込まないように注意してください。

壁直付け

レンズの向きによって、取付方向が異なります。

[取付例]



[取付手順]

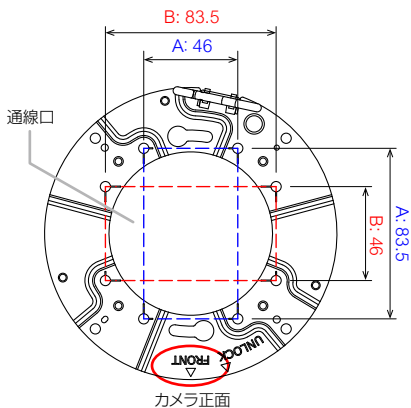
- 1** 壁に直径 30 mm の穴をあけ、カメラに接続するケーブルを引き出す。
- 2** 壁から引き出したケーブルをベース金具の通線口に通して、ベース金具を壁に固定する。
 - A または B の 4 カ所の穴を使用してください。
 - 取付ねじは付属していません。取付ねじは、呼び径 4 のものを使用してください。設置状況に応じた最適な長さで強度の確保できるものを選定してください。

ご注意

壁の強度が十分確保できることを確認したうえで設置してください。

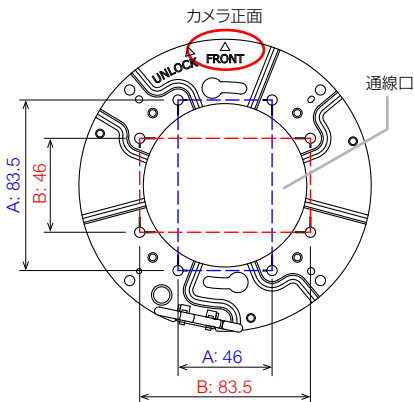
・レンズの向きを水平より下に向ける場合

ベース金具の△マーク（FRONT）が下向きになるように取り付けてください。



・レンズの向きを水平より上に向ける場合

ベース金具の△マーク（FRONT）が上向きになるように取り付けてください。



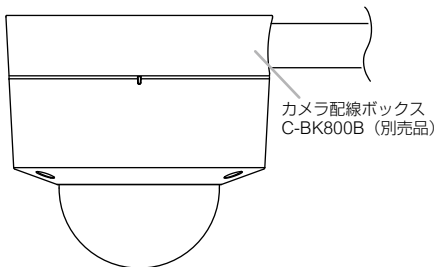
以降は天井直付けの取付手順と同様です。

P. 17 の手順 3 ~ 8 を参照してください。

露出配線

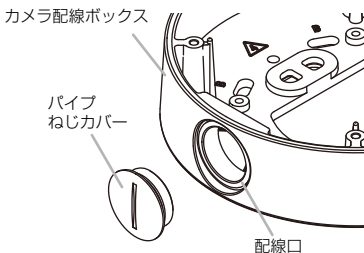
露出配線するときは、別売のカメラ配線ボックス C-BK800B が必要です。

[取付例]



[取付手順]

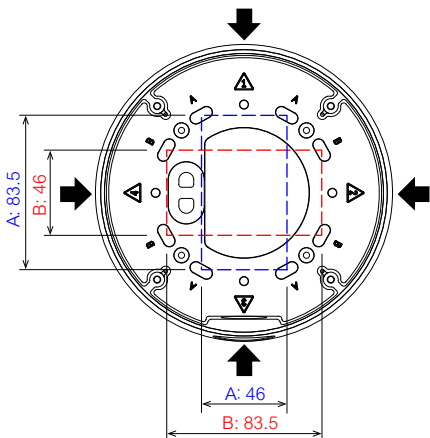
- 1** カメラ配線ボックス C-BK800B (別売品) のパイプねじカバーをマイナスドライバーなどで取り外す。

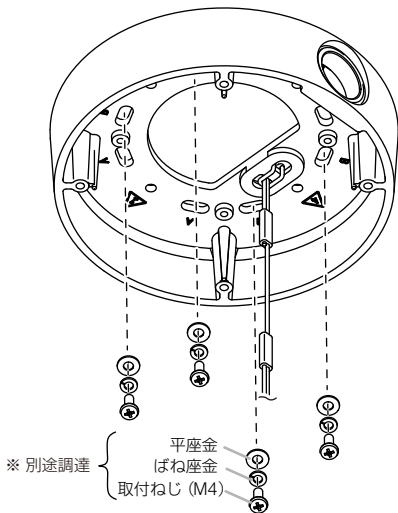


2 カメラの向きと配線の方向を確認して、取付ねじでカメラ配線ボックスを壁面または天井に固定する。

配線口はカメラ正面（天井設置時）またはカメラ上面（壁設置時）から 90° 間隔で 4 方向に向けることができます。

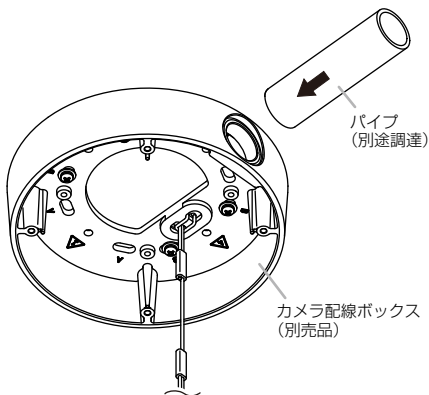
- A または B の 4 カ所の穴を使用してください。
- カメラ配線ボックスにはカメラ正面（天井設置時）またはカメラ上面（壁設置時）を示す△マークが 4 カ所にあります。ケーブルを引き込む配線口をどの方向に向けたいかを決め、必要な△マークを選んでください。



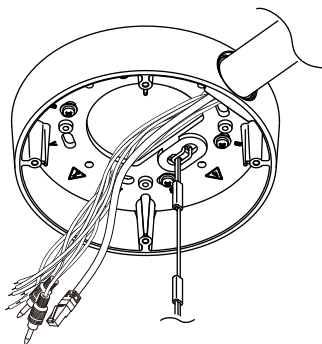
**ご注意**

取付ねじは付属していません。取付ねじは、呼び径 4 のものを使用してください。設置状況に応じた最適な長さで強度の確保できるものを選定してください。

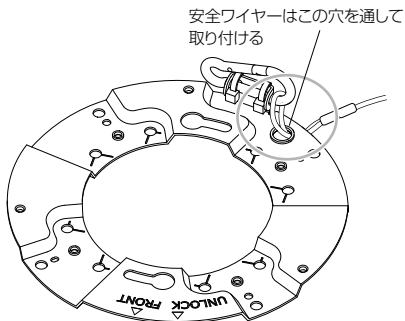
- 3** パイプ（別途調達）を使用する場合は、カメラ配線ボックスの外側からパイプをねじ込む。



- 4** 配線口からカメラに必要なケーブルを引き出す。



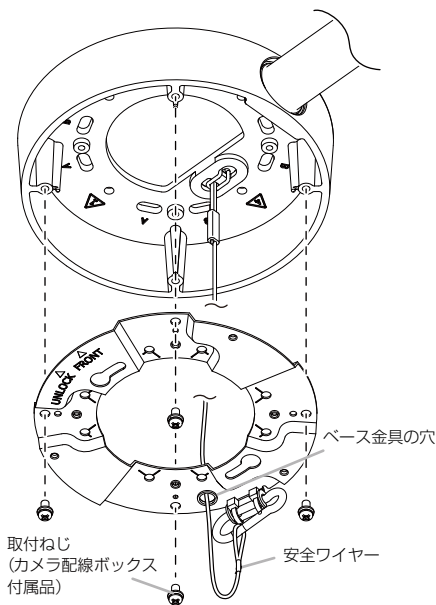
5 カメラ配線ボックスの安全ワイヤーをベース金具に取り付ける。



6 取付ねじ (カメラ配線ボックス付属品) を使用してベース金具をカメラ配線ボックスに取り付ける。

ご注意

このとき、安全ワイヤーを挟み込まないように注意してください。



7 安全ワイヤーのたるみ部分がなくなるまでベース金具の穴に押し込む。

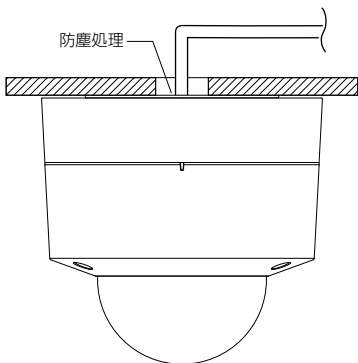
以降は天井直付けの取付手順と同様です。

P. 17 の手順 3 ~ 8 を参照してください。

クリーンルーム

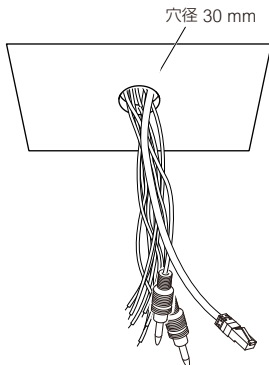
クリーンルームに設置するときは、別売のカメラ配線ボックス C-BK800B が必要です。

[取付例]



[取付手順]

- 1 壁または天井に直径 30 mm の穴をあけ、カメラに必要なケーブルを引き出す。

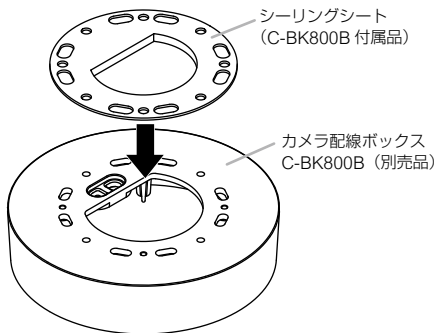
**ご注意**

ケーブルは 150 mm 程度引き出してください。

2 カメラ配線ボックスにシーリングシート (C-BK800B 付属品) を貼り付ける。

ご注意

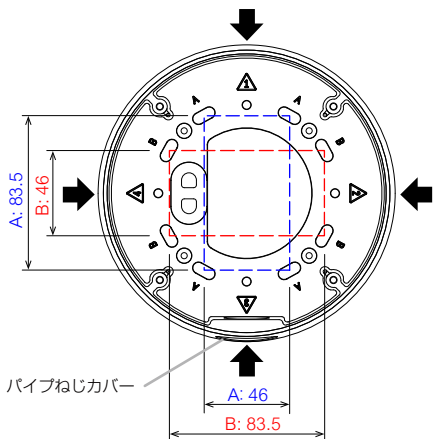
穴の位置を合わせて貼り付けてください。

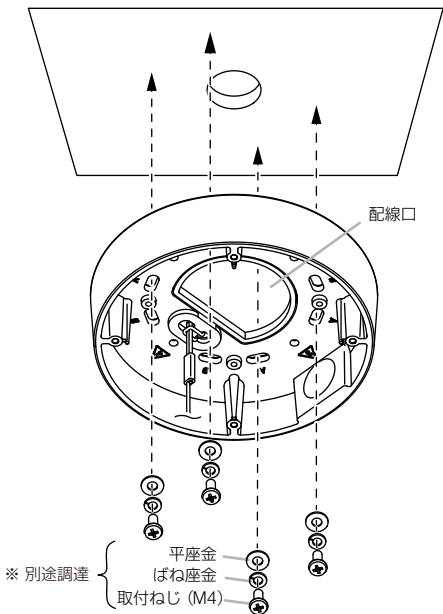


3 カメラの向きとパイプねじカバーの方向を確認して、取付ねじでカメラ配線ボックスを壁面または天井に固定する。

配線口はカメラ正面（天井設置時）またはカメラ上面（壁設置時）から 90° 間隔で 4 方向に向けることができます。

- A または B の 4 カ所の穴を使用してください。
- カメラ配線ボックスにはカメラ正面（天井設置時）またはカメラ上面（壁設置時）を示す△マークが 4 カ所にあります。ケーブルを引き込む配線口をどの方向に向けたいかを決め、必要な△マークを選んでください。

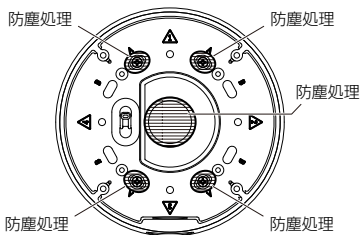


**ご注意**

取付ねじは付属していません。取付ねじは、呼び径4のものを使用してください。設置状況に応じた最適な長さで強度の確保できるものを選定してください。

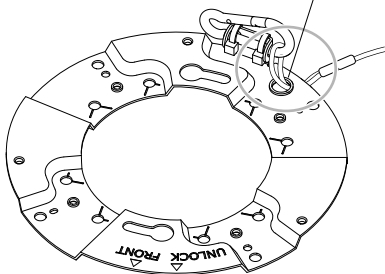
4 ねじ固定部と配線口を防塵処理する。

[防塵処理する箇所]



5 カメラ配線ボックスの安全ワイヤーをベース金具に取り付ける。

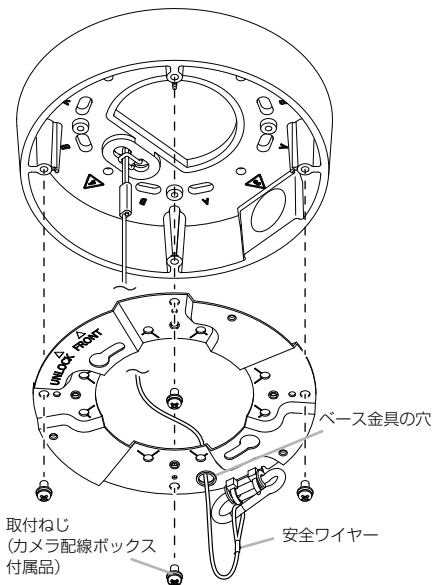
安全ワイヤーはこの穴を通して取り付ける



6 取付ねじ (カメラ配線ボックス付属品) を使用してベース金具をカメラ配線ボックスに取り付ける。

ご注意

このとき、安全ワイヤーを挟み込まないように注意してください。



7 安全ワイヤーのたるみ部分がなくなるまでベース金具の穴に押し込む。

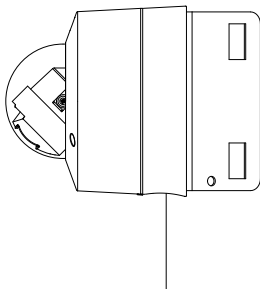
以降は天井直付けの取付手順と同様です。

P. 17 の手順 3 ~ 8 を参照してください。

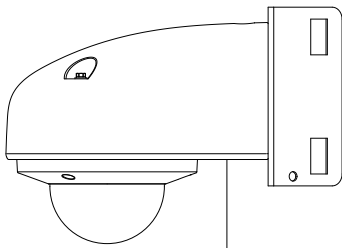
ポール取り付け

別売の屋外カメラポール取付金具（C-BC450PM）と取付バンド（YS-60B）を使用してポールに設置することができます。

- カメラ配線ボックス C-BK800B（別売品）を使用して取り付ける場合：[P. 39](#)



- 屋外カメラ壁取付金具 C-BK802W（別売品）を使用して取り付ける場合：[P. 44](#)

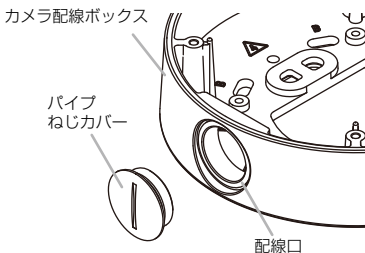


カメラ配線ボックスを使用して取り付ける場合

別売のカメラ配線ボックス C-BK800B が必要です。

[取付手順]

- 1 カメラポール取付金具をポールに取り付ける。
- 2 カメラ配線ボックスのパイプねじカバーをマイナスドライバーなどで取り外す。

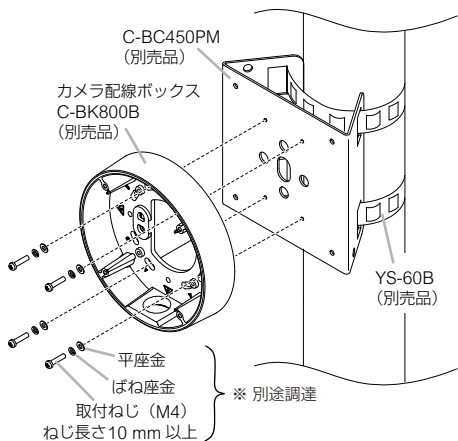
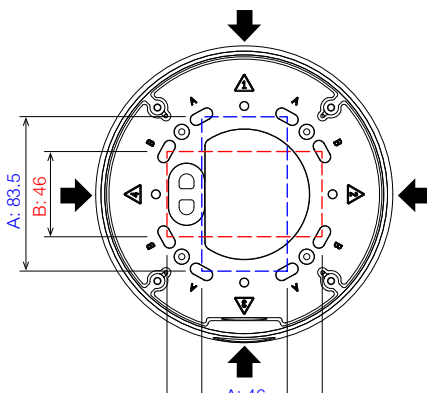


- 3 配線の方向を確認して、取付ねじでカメラ配線ボックスをカメラポール取付金具に固定する。

- カメラ配線ボックスにはカメラ上面を示す△マークが4カ所にあります。ケーブルを引き込む配線口をどの方向に向けたいかを決め、必要な△マークを選んでください。配線口はカメラ上面から90°間隔で4方向に向けることができます。
- 取付ねじ類は付属していません。別途ご用意ください。

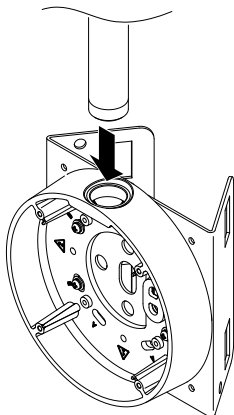
ご注意

カメラ配線ボックス内は防水されていません。パイプを配線口に固定する場合はパイプを上面に取り付けるなどパイプ内に水がたまらないように注意してください。



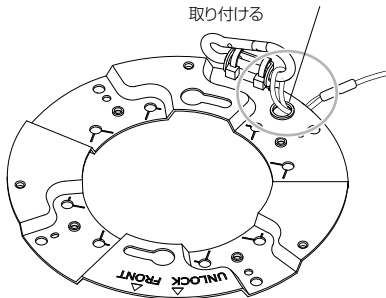
[パイプを使用する場合]

カメラ配線ボックスの外側からパイプをねじ込んでください。



4 カメラ配線ボックスの安全ワイヤーをベース金具に取り付ける。

安全ワイヤーはこの穴を通して
取り付ける

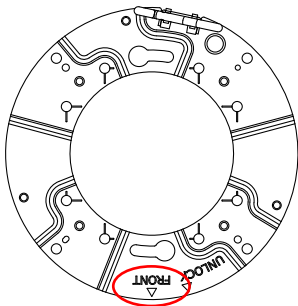


5 取付ねじ（カメラ配線ボックス付属品）を使用して、ベース金具をカメラ配線ボックスに取り付ける。

レンズの向きによって、取付方向が異なります。

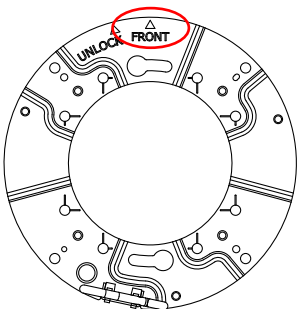
・レンズの向きを水平より下に向ける場合

ベース金具の△マーク（FRONT）が下向きになるように取り付けてください。



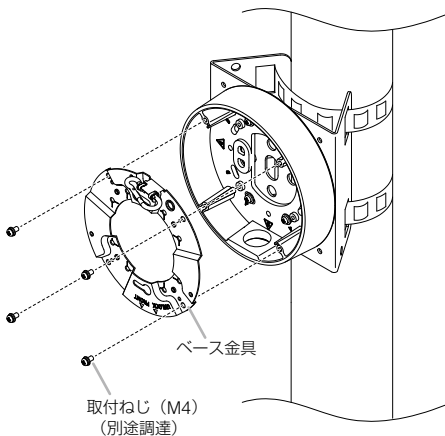
・レンズの向きを水平より上に向ける場合

ベース金具の△マーク（FRONT）が上向きになるように取り付けてください。



メモ

レンズ面は太陽に向けないように注意してください。
CMOS センサー内部の色フィルターが劣化して画像
が変色することがあります。



以降は天井直付けの取付手順と同様です。

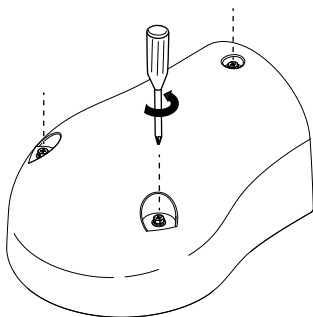
P. 17 の手順 3 ~ 8 を参照してください。

壁取付金具を使用して取り付ける場合

別売の屋外カメラ壁取付金具 C-BK802W が必要です。

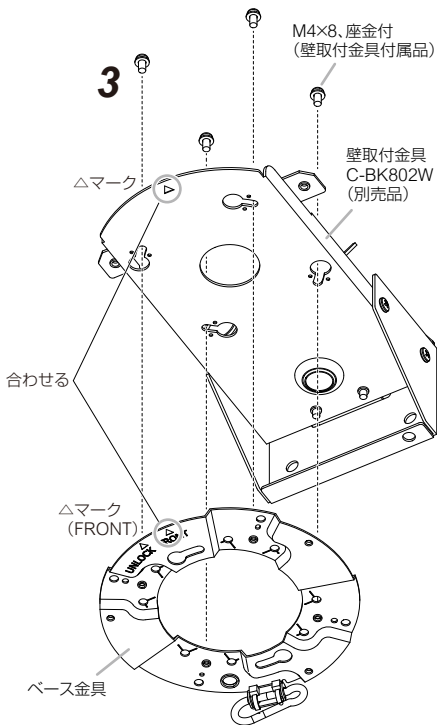
- 1** カメラポール取付金具をポールに取り付ける。
- 2** カバー取付ねじ（3カ所）をゆるめ、壁取付金具を取り外す。

※ カバーと壁取付金具は落下防止ワイヤーでつながっています。



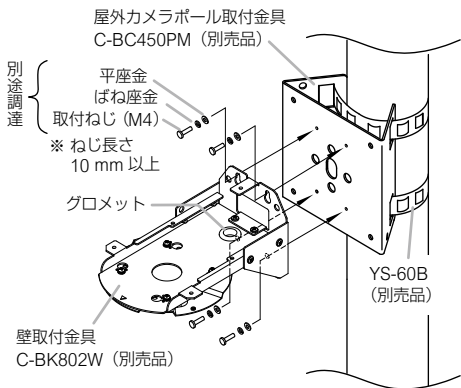
3 ベース金具を壁取付金具に取り付ける。

ベース金具と壁取付金具の△マークの向きを合わせ、壁取付金具に付属のねじ（M4×8、座金付）を使用して取り付けます。



4 壁取付金具をカメラポール取付金具に取り付ける。

- 取付ねじ類は付属していません。別途ご用意ください。
- 取付ねじ (M4)、平座金、ばね座金を各 4 個ずつ使用して、C-BK802W 付属の壁取付金具を取り付けてください。



5 グロメットに穴をあけ、カメラに接続するケーブルを引き込む。

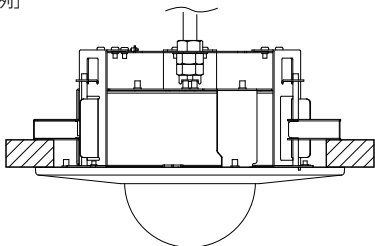
以降は、壁取付金具を使用する取付手順と同様です。

P. 61 の手順 4 ~ 10 を参照してください。

天井埋込金具を使用する

別売のカメラ天井埋込金具 C-BK802U を使用します。
ドーム型カメラのドームカバー部だけを露出させて設置
することができます。

[取付例]

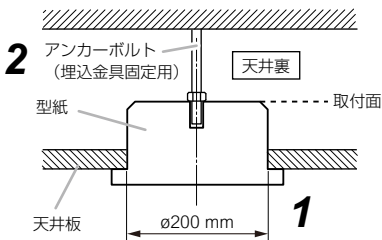


[取付手順]

1 天井に直径 200 mm の取付穴をあける。

2 天井裏に埋込金具を固定できるアンカーボルトを打ち込む。

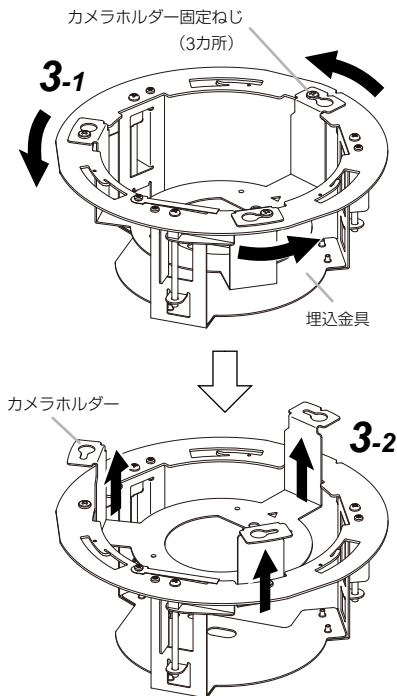
- 埋込金具固定用は、直径 200 mm の取付穴の中心に打ち込んでください。
- アンカーボルトの長さ・取付面の高さは、付属の型紙を利用して決めてください。



3 埋込金具のカメラホルダーを外す。

3-1 3カ所のカメラホルダー固定ねじをゆるめ、カメラホルダーを反時計方向に回す。

3-2 カメラホルダーを引き出す。



4 埋込金具を取付穴に固定する。

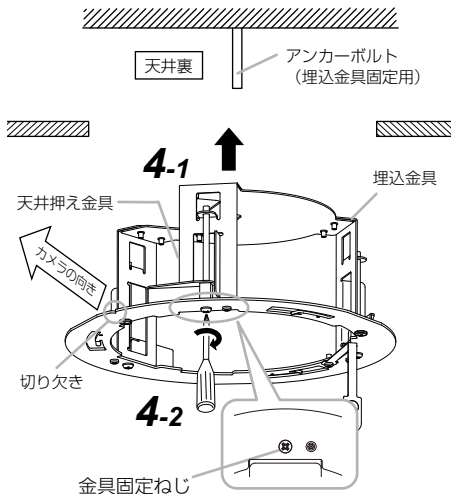
4-1 埋込金具の切り欠きを映したい方向に向け、取付穴に差し込む。

4-2 金具固定ねじ（3本）を時計方向に回す。

天井押え金具が下がり、天井に金具が固定されます。

で注意

金具固定ねじは、 $80\text{cN}\cdot\text{m}$ 以上のトルクで締め付けないでください。

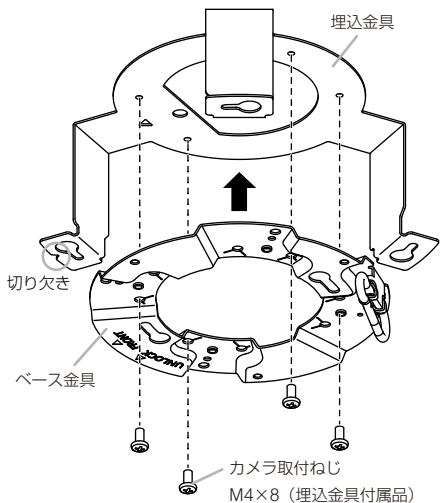


5 埋込金具を天井裏のアンカーボルトに固定する。

切り欠き側がカメラの正面となります。

6 埋込金具に付属のカメラ取付ねじ (M4 × 8) を使用して、ベース金具をカメラホルダーに取り付ける。

切り欠き側がカメラの正面になります。



7 カメラ本体用設置補助ワイヤーをベース金具のスナップフックに取り付ける。

天井直付けの取付手順と同様です。P. 17 の手順 3 を参照してください。

8 カメラ本体をベース金具に取り付ける。

天井直付けの取付手順と同様です。P. 19 の手順 5 を参照してください。

9 ドームカバー用設置補助ワイヤーをベース金具のスナップフックに取り付ける。

天井直付けの取付手順と同様です。

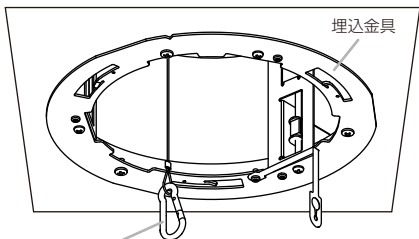
P. 20 の手順 7 を参照してください。

10 ドームカバーをカメラ本体に仮止めする。

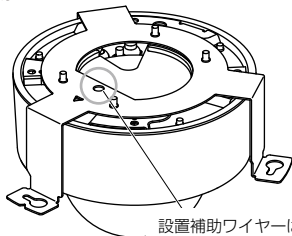
天井直付けの取付手順と同様です。

P. 21 の手順 8 を参照してください。

11 埋込金具のカメラホルダー用設置補助ワイヤーをカメラホルダーに取り付ける。



カメラホルダー用
設置補助ワイヤー

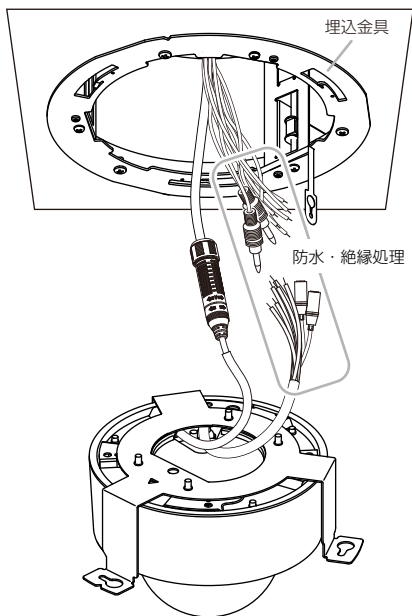


設置補助ワイヤーは
この穴に取り付ける

12 天井から引き出したケーブルとカメラ本体のケーブルを接続する。

ご注意

接続部に自己融着タイプの絶縁テープを巻き、ケーブルの防水・絶縁処理をしてください。処理方法については、P. 75「音声／接点／電源の接続と防水・絶縁処理」を参照してください。



13 カメラホルダー（カメラ本体付）を埋込金具に取り付ける。

13-1 埋込金具の切り欠きとカメラホルダーの切り欠きの方向を合わせる。

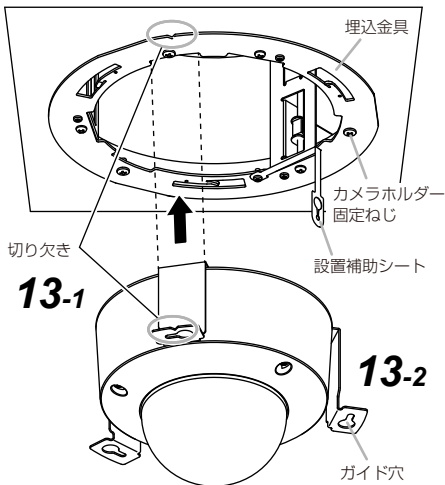
13-2 カメラホルダー（カメラ本体付）を埋込金具に押し込み、ガイド穴にカメラホルダー固定ねじをはめ込む。

メモ

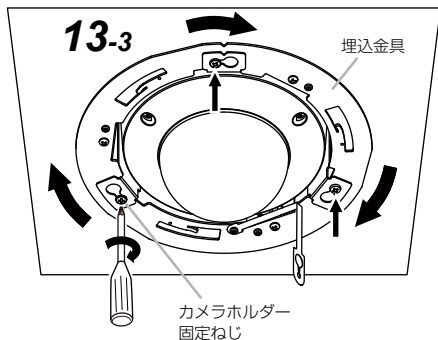
このとき、設置補助シートが取付穴から出ていることを確認してください。

ご注意

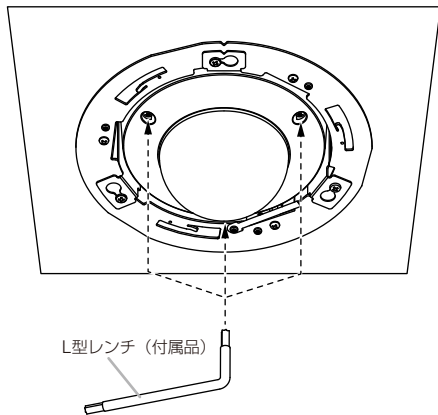
押し込む際に天井からの設置補助ワイヤー、接続したケーブルなどを挟み込まないようにしてください。



- 13-3** カメラホルダー（カメラ本体付）を時計方向に回し、カメラホルダー固定ねじで固定する。



- 14** 付属のL型レンチを使用して、ドームカバーをカメラ本体から取り外す。



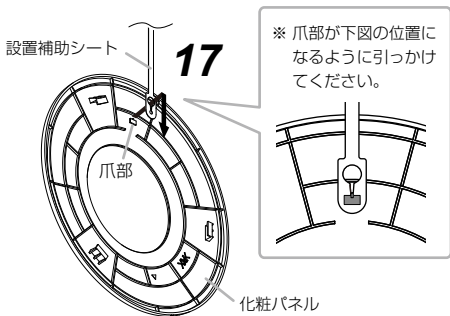
15 カメラの画角とフォーカスを調整する。

カメラの調整については、P. 79「調整のしかた」を参照してください。

16 ドームカバーをカメラ本体に取り付ける。

天井直付けの取付手順と同様です。P. 21 の手順 8 を参照してください。

17 化粧パネルの爪部を、埋込金具の設置補助シートに引っ掛けて取り付ける。



18 化粧パネルを埋込金具に取り付ける。

18-1 埋込金具の切り欠きと化粧パネルの位置決めマークを合わせて、化粧パネルを埋込金具に押し込む。

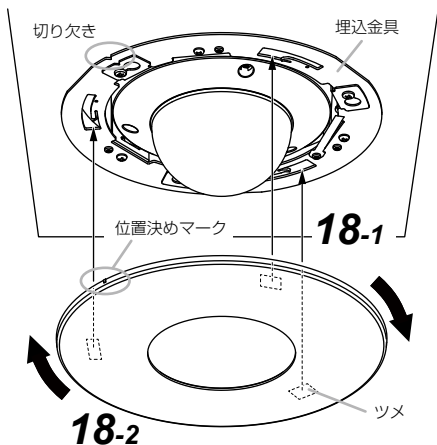
18-2 化粧パネルを天井に押さえつけながら、時計方向に回す。

ご注意

化粧パネルのツメが埋込金具の突起を乗り越えるまで回します。軽く反時計方向に戻し、突起に引っかかることを確認してください。

メモ

化粧パネルが浮いていないか、設置補助シートが挟まっていないか確認してください。

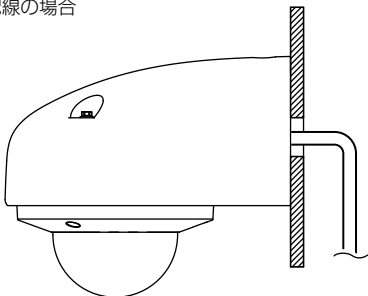


壁取付金具を使用する

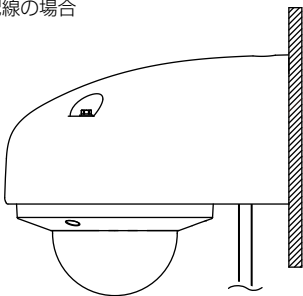
別売の屋外カメラ壁取付金具 C-BK802W を使用します。

[取付例]

埋設配線の場合



露出配線の場合

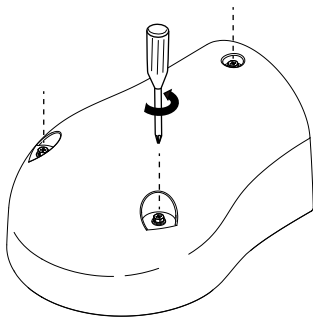


[取付手順]

壁取付金具に付属されているジョイントベース、安全ワイヤー、ねじ（M4 × 16、座金付）は使用しません。

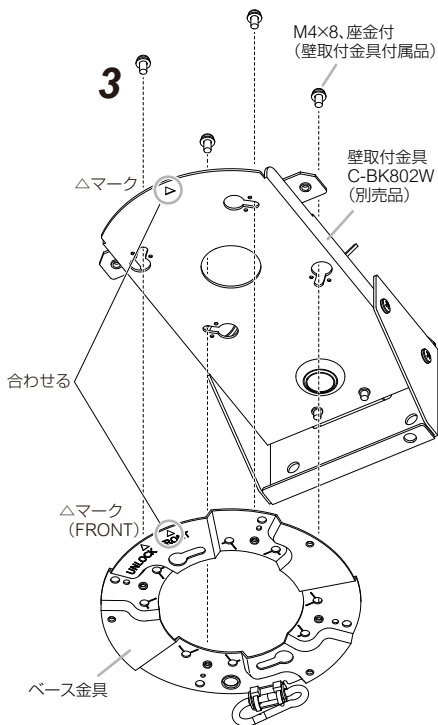
1 カバー取付ねじ（3カ所）をゆるめ、壁取付金具を取り外す。

※ カバーと壁取付金具は落下防止ワイヤーでつながっています。



2 ベース金具を壁取付金具に取り付ける。

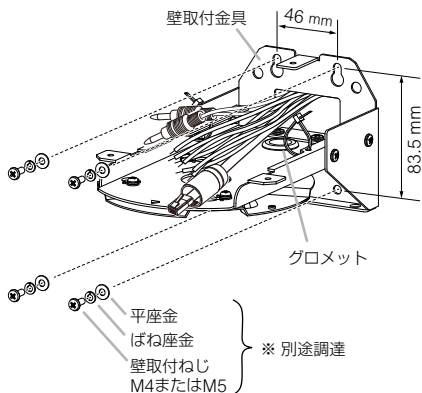
ベース金具と壁取付金具の△マークの向きを合わせ、壁取付金具に付属されているねじ（M4×8、座金付）を使用して取り付けます。



3 壁取付金具を壁に取り付け、カメラに接続するケーブルを引き出す。

壁取付ねじで下図の4カ所を固定してください。

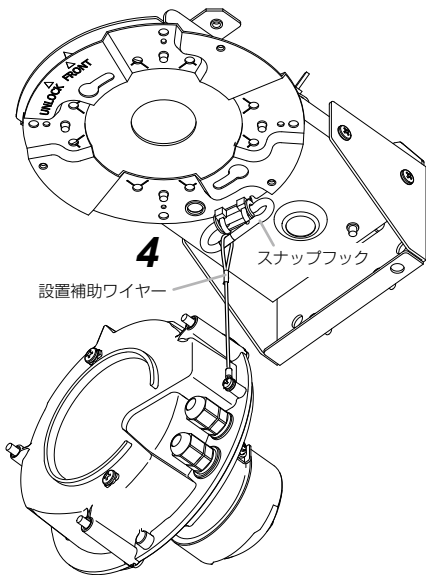
ねじは M4 または M5 を使用することができます。



メモ

露出配線の場合、壁取付金具に取り付けられているグロメットに穴をあけて金具内にケーブルを引き込んでください。

- 4** カメラ本体用設置補助ワイヤーをベース金具のスナップフックに取り付ける。



5 カメラ本体をベース金具に取り付ける。

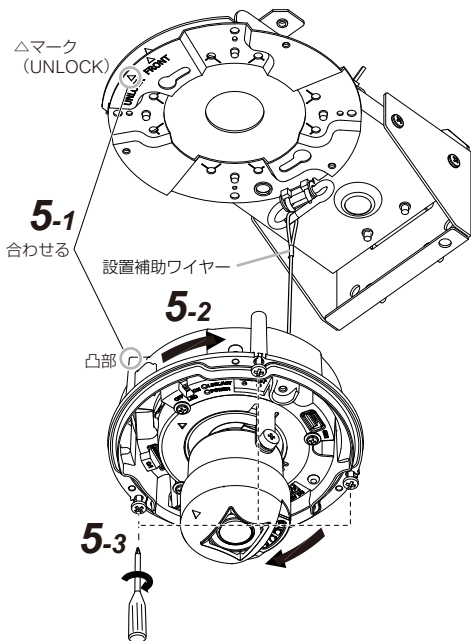
5-1 カメラ本体の凸部とベース金具の△マーク (UNLOCK) の位置を合わせる。

5-2 カメラ本体を時計方向に回転させて仮固定する。

ご注意

設置補助ワイヤーを挟み込まないように注意してください。

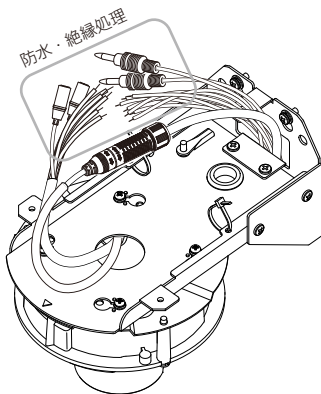
5-3 ねじ (3カ所) をしっかりと締め付け、カメラ本体を固定する。



6 壁から引き出したケーブルをカメラに接続する。

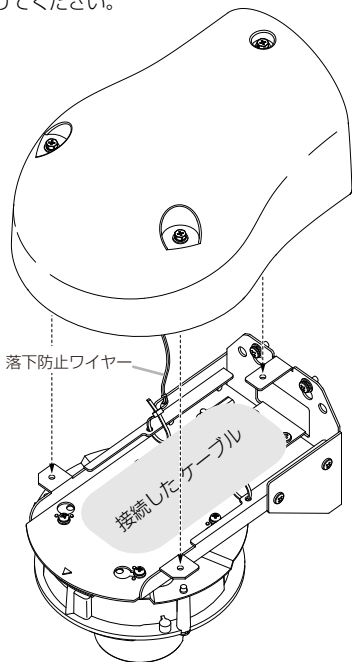
ご注意

接続部に自己融着タイプの絶縁テープを巻き、ケーブルの防水・絶縁処理をしてください。処理方法については、P. 75「音声／接点／電源の接続と防水・絶縁処理」を参照してください。



7 カバーを取り付ける。

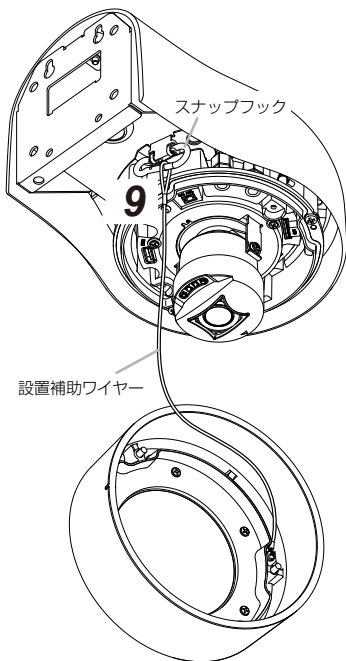
接続したケーブルとカバーに取り付けられている落下防止ワイヤーを壁取付金具の上に収めて、カバーを取り付けてください。



8 カメラの画角とフォーカスを調整する。

カメラの調整については、P. 79「調整のしかた」を参照してください。

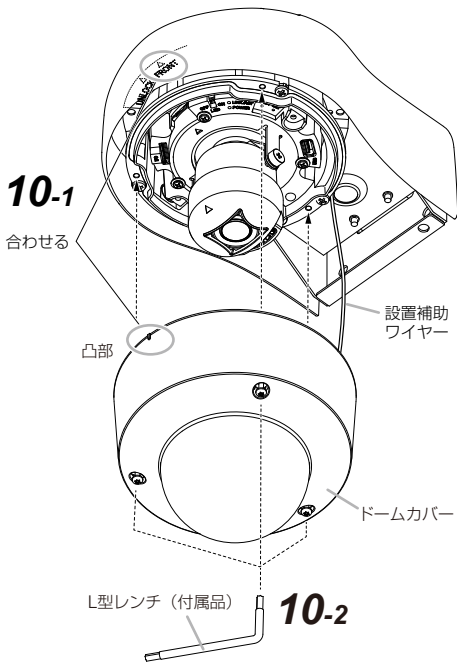
9 ドームカバーの設置補助ワイヤーをベース金具のスナップフックに取り付ける。



10 ドームカバーをカメラ本体に固定する。

10-1 ドームカバーの凸部と、ベース金具の△マーク (FRONT) の向きを合わせる。

10-2 付属の L 型レンチでドームカバーのねじ (3カ所) を締め付ける。



ご注意

設置補助ワイヤーを挟み込まないように注意してください。

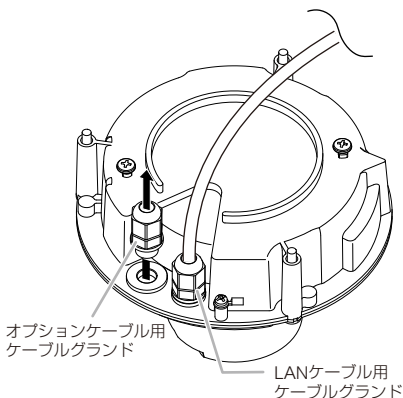
オプションケーブルを使用する

DC12 V 電源入力、音声入出力、接点入出力機能を使用するときに別売のオプションケーブル N-OP600CA を取り付けます。

[取付手順]

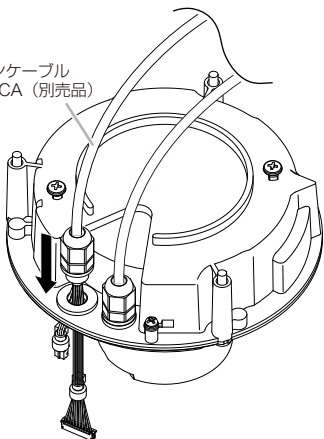
1 カメラ本体からオプションケーブル用ケーブルグランドを取り外す。

工具は付属していません。二面幅 13 mm のスパナを使用してください。



2 オプションケーブルをカメラ本体に固定する。

オプションケーブル
N-OP600CA (別売品)



メモ

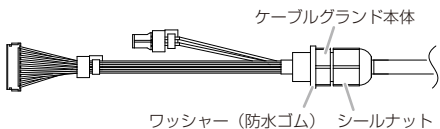
締付トルクは以下のとおりです。(参考値)

シールナット : 50 ~ 100 cN・m

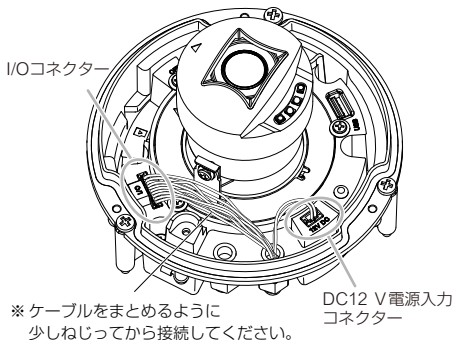
ケーブルグランド本体 : 80 ~ 120 cN・m

ご注意

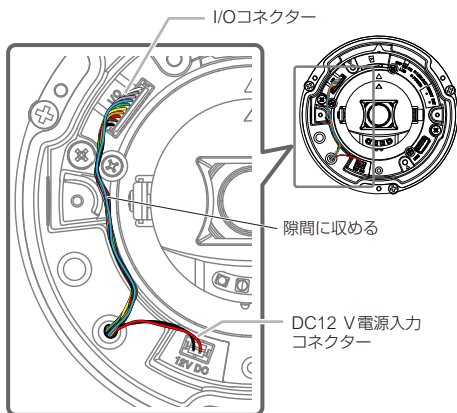
ワッシャー (防水ゴム) が正しく取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けないと防塵・防水性能を確保できません。



- 3** オプションケーブルの I/O コネクターと DC12 V 電源入力コネクターを、カメラのコネクターにそれぞれ接続する。



- 4** I/O コネクター側のケーブルを隙間に収める。



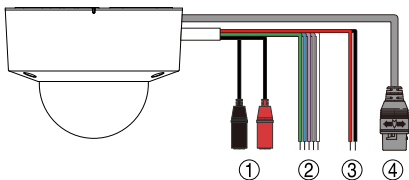
接続のしかた

接続のしかた	71
接続端子について	71
LAN 端子 (LAN ケーブル) の接続と防水処理	72
PoE 電源	74
音声/接点/電源の接続と防水・絶縁処理	75
音声入力、音声出力	76
DC12 V 電源	77
電源接続の確認	77

接続のしかた

音声入出力端子、接点入出力端子、DC12 V 電源入力端子を使用するには、別売の N-OP600CA が必要です。

接続端子について



① 音声入出力端子

黒	音声入力	AUDIO : LINE/MIC IN [BLK]
赤	音声出力	AUDIO : LINE OUT [RED]

② 接点出力端子、MIC 電源端子

緑	接点入力	ALARM : IN [GRN]
青	GND	ALARM : GND [BLU]
紫	接点出力	ALARM : OUT [PUR]
灰	MIC 電源	MIC POWER OUT : 16 V DC + [GRY]
白	GND	MIC POWER OUT : GND [WHT]

③ カメラ電源入力端子

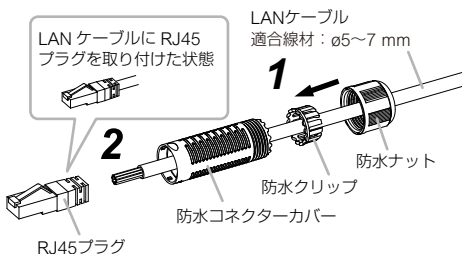
電源に接続します。

赤	カメラ電源 +	POWER IN (DC 12 V) : + [RED]
黒	カメラ電源 -	POWER IN (DC 12 V) : - [BLK]

④ LAN 端子

10BASE-T/100BASE-TX に接続します。

LAN 端子 (LAN ケーブル) の接続と防水処理



- 1 LAN ケーブルを防水ナット、防水クリップ、防水コネクターカバーの順に通す。

メモ

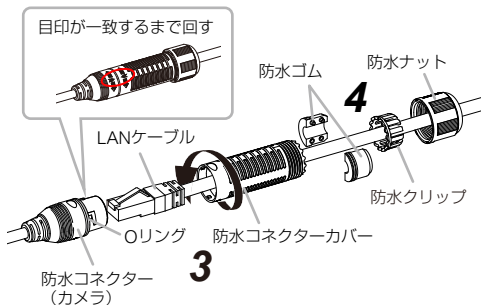
RJ45 プラグの形状によっては RJ45 プラグを取り付けた状態でも通せます。

- 2 RJ45 プラグを取り付ける。

RJ45 プラグを専用工具で取り付けてください。

ご注意

RJ45 プラグ、専用工具は付属していません。別途ご用意ください。



3 LAN ケーブルをカメラの防水コネクタに接続し、防水コネクタカバーを取り付ける。

防水コネクタカバーの目印 ◀ と防水コネクタの目印 ▶ が一致するまで回して取り付けてください。

ご注意

防水コネクタ（カメラ）にOリングが取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けないと防塵・防水性能を確保できません。

メモ

防水コネクタが滑りやすく目印が一致するまで回せない場合は、滑り止め付き手袋などを使用して回してください。

4 防水クリップと防水コネクタカバーの間に防水ゴムを取り付け、防水ナットを取り付ける。

防水ナットはロックするまで回して取り付けてください。

ご注意

防水ナット側が下になるよう配線してください。

PoE 電源

カテゴリ 5 以上の LAN ケーブルを使用して、本機の LAN 端子 (LAN ケーブル) を PoE 対応スイッチに接続してください。

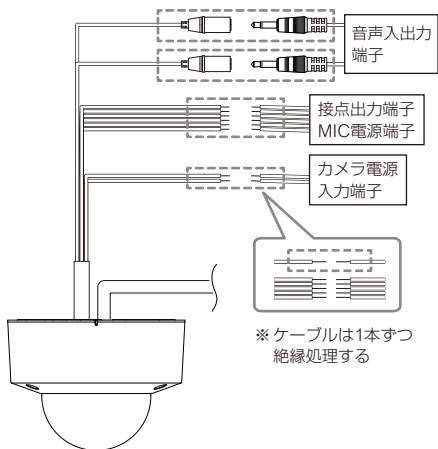
本機と PoE 対応スイッチ間の延長距離は、100 m 以内で接続してください。

メモ

PoE 対応スイッチを使用する場合は、スイッチから電源供給されますので、DC12 V 電源を接続しないでください。

音声／接点／電源の接続と防水・絶縁処理

本機に接続した各ケーブルの接続部は、下図のように防水・絶縁処理をしてください。



- 自己融着タイプの絶縁テープを巻き付けて防水処理および絶縁処理を行ってください。
- ケーブルの最も外側の被覆を覆うように巻いてください。その際、ケーブルの導線同士が接触しないように処理してください。（一本ずつ絶縁する、心線は切断して露出させない、など）
- 周囲の金属部分と接触しないように配線してください。
- カメラのすべての配線（ほかの機器との接続）が完了していることを確認してからカメラの電源を入れてください。

ご注意

- 伸縮性の悪い自己融着テープを使用すると、巻き付けた際に隙間ができやすく、端子に水が入り故障の原因となります。ケーブルの凹凸部にも隙間なく巻き付けられる伸縮性の良い自己融着テープを使用してください。
- 自己融着テープは、防水性能を確保するために十分に引っ張りながら巻き付けてください。また、ケーブルの凹凸部に巻き付ける際は、隙間ができやすいため、複数回巻き付けてください。
- カメラ本体は防水ですが、カメラベース部分は防水ではありません。

音声入力、音声出力

本機と音声入力端子、音声出力端子を接続するときの機器間の延長距離は 30 m 以内とし、シールド線を使用してください。

延長距離が 30 m 以内でも音声にノイズがのる場合があります。その場合は、配線方法やシールド線を変更してください。

DC12 V 電源

- DC12 V 電源は AC アダプター AD-1210-B (別売品) を使用してください。
 - オプションケーブル N-OP600CA (別売品) が必要です。
- 延長ケーブルの最大延長距離は以下のとおりです。

使用するケーブル (導体外径)	最大延長距離
ø0.6 mm	10 m
ø1.1 mm	40 m

ご注意

電源の極性を正しく接続してください。

メモ

PoE 対応スイッチを使用する場合は、スイッチから電源供給されますので、DC12 V 電源を接続しないでください。

電源接続の確認

本機が正常に接続されているか以下の点を確認してください。また、確認する前に LED 表示スイッチを「ON」にして、確認が終わったら「OFF」に戻してください。

1. 起動 LED [POWER] が点灯している。
2. LINK/ACT LED が点滅している。

正常に接続できない場合は、[P. 95「故障かな?と思ったら」](#)を確認し対処してください。

調整のしかた

調整のしかた	79
スマートフォンで調整する	79
画角調整画面を開く	81
画角を調整する	86
PCで調整する	91
画角調整画面を開く	91
画角を調整する	92

調整のしかた

本機の USB 端子に USB 無線 LAN アダプターや USB 有線 LAN アダプターを接続し、スマートフォンや PC から本機にアクセスして画角調整ができます。

メモ

- USB 端子は設置時のみ使用する端子です。
- USB LAN アダプターを使用した画角調整は、本機が起動してから 30 分間のみ有効です。
- 起動後 30 分以上経過している場合は、カメラを再起動してから調整してください。

スマートフォンで調整する

本機に USB 無線 LAN アダプターを接続し、スマートフォンアプリ TRIFORA Touch を使用して画角調整を行います。

TRIFORA Touch の動作環境

iPhone

Android



[事前準備]

- スマートフォンにスマートフォンアプリ TRIFORA Touch をインストールします。
App Store または Google Play ストアで「TRIFORA Touch」を検索し、インストールしてください。
- 本機の USB 端子に USB 無線 LAN アダプターを接続します。

メモ

動作確認済みの USB 無線 LAN アダプターを使用してください。詳しくは TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/download/>) からカメラの品番で検索し、ご確認ください。

画角調整画面を開く

[手順]

1 スマートフォンアプリ TRIFORA Touch を起動する。



2 「画角調整」 ボタンをタップする。



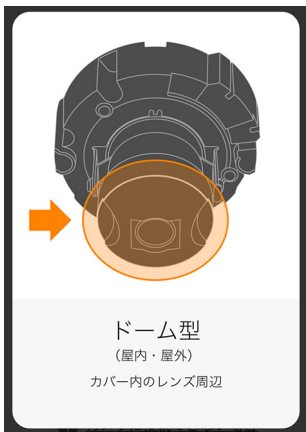
3 「カメラを調整」 ボタンをタップする。



4 「スキャンの準備ができました」と表示されたらスマートフォンをカメラにかざす。

接続できないときは、「カメラに接続できない場合」ボタンをタップし、表示される内容を確認してください。

カメラのタッチ位置は「カメラのタッチ位置」ボタンをタップして確認できます。



- 5** スキャンに成功すると、以下のポップアップが表示されるので「OK」ボタンをタップする。



6 「接続」 ボタンをタップする。

Web ブラウザーが起動し、以下のメッセージが表示されます。

メモ

Web ブラウザーが起動するまでに 10 秒程度かかる場合があります。



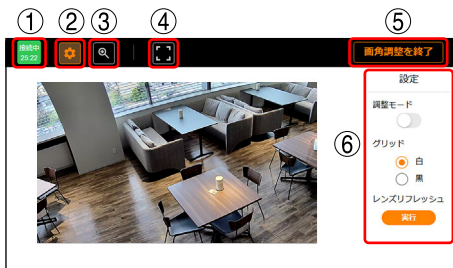
「OK」をクリックすると画角調整画面が表示されます。

画角を調整する

× モ

本書ではスマートフォンを横向きに表示した場合の画面を使用して説明しています。ご使用のスマートフォンの機種や設定によっては表示が異なる場合があります。

[画角調整画面]



① 画角調整の残り時間

USB 機能を使用できる残り時間を表示します。

※ USB 機能の使用可能時間は電源投入後 30 分間です。

② 設定ボタン

③ ズームボタン

④ 全画面表示ボタン

カメラの映像を全画面表示します。

「×」ボタンで解除します。

⑤ 画角調整を終了ボタン

⑥ 操作エリア

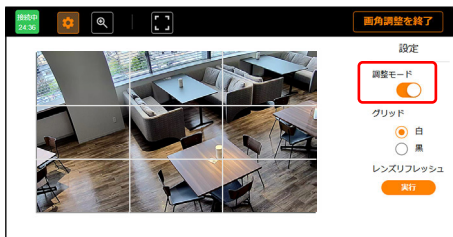
設定ボタンやズームボタンをタップして各操作を行います。画角調整画面を開いたときは設定の内容を表示します。

[手順]

1 「調整モード」をオンにする。

グリッドが表示されます。

グリッドの表示色は白または黒を選択できます。



メモ

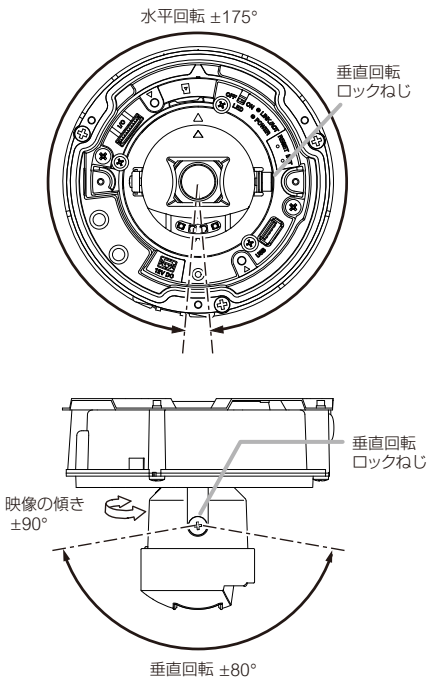
調整モードでは強制的に被写界深度が浅くなります。被写界深度が浅い状態でフォーカスを調整すると、暗くなったときでもフォーカスがずれません。

ご注意

赤外線投光器や、白熱灯、ハロゲンライトなどの赤外線領域の強い照明を使用して暗い場所を撮影するとき、被写体によりカラーモード・白黒モードが頻繁に切り換わることがあります。このようなときは、赤外線投光器や白熱灯、ハロゲンライトの角度などを変更して赤外線光量を減らすように調節する、または、カメラの画角や設置場所を変更してください。

2 カメラの角度を調整する。

カメラの角度は水平回転 350° ($\pm 175^{\circ}$)、垂直回転 160° ($\pm 80^{\circ}$)、映像の傾きは 180° ($\pm 90^{\circ}$) で調節ができます。垂直回転の調節は、垂直回転ロックねじをゆるめます。角度調節後、垂直回転ロックねじを締めつけて固定します。

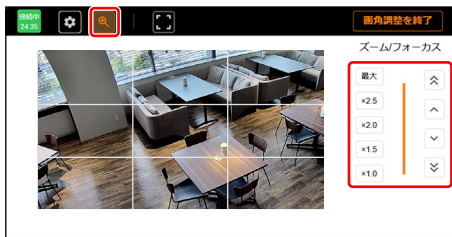


3 🔍 (ズームボタン) をタップし、画角を調整する。

ボタンを操作し、画角を調整してください。

最大 / x2.5 / x2 / x1.5 / x1

⤴ ⤵ ボタンで微調整します。



メモ



ズーム操作をすると、自動でフォーカスを合わせます。特定の物体にフォーカスを合わせたいときは、映像上の合わせたい場所を長押しします。フォーカスを合わせる場所にはオレンジ色の枠が表示されます。



ご注意

レンズは手で動かさないでください。自動でフォーカスを合わせることができなくなります。

フォーカスが合いにくい場合は、設定の「レンズリフレッシュ」を実行してから画角を調整してください。

- 4  (設定ボタン)をタップし、調整モードをオフにする。
- 5  (画面調整を終了ボタン) をタップする。
- 6 確認メッセージが表示されるので「OK」をタップする。

メモ

- 画面調整を終了すると、USB無線 LANアダプターを使用した接続はできなくなります。
- 調整が終了したら、USB端子に接続した USB無線 LANアダプターを取り外してください。
- 画質の調整は、取扱説明書(設定編)をご覧ください。

PC で調整する

本機に USB 有線 LAN アダプターを接続し、Web ブラウザーを使用して画角調整を行います。

[事前準備]

本機の USB 端子に USB 有線 LAN アダプターを接続します。

画角調整画面を開く

[手順]

- 1 本機に接続した USB 有線 LAN アダプターと PC を LAN ケーブルで接続する。
- 2 PC で Web ブラウザーを起動する。
- 3 Web ブラウザーに IP アドレス「192.168.15.1」を入力し Enter キーを押す。
画角調整画面が表示されます。

メモ

- 動作確認済みの USB 有線 LAN アダプターを使用してください。詳しくは TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/download/>) からカメラの品番で検索し、ご確認ください。
- USB 端子を使用した画角調整時は IP アドレス「192.168.15.1」、サブネットマスク「255.255.255.0」で接続します。ただし、本機の IP アドレスが「192.168.15.X」(X: 任意) に設定されている場合は、IP アドレス「172.16.15.1」、サブネットマスク「255.255.0.0」になります。**手順 3**では「172.16.15.1」を入力してください。

画角を調整する

調整方法は P. 86 「[画角を調整する](#)」を参照してください。

メモ

- 画角調整を終了すると、USB 有線 LAN アダプターを使用した接続はできなくなります。
- 調整が終了したら、USB 端子に接続した USB 有線 LAN アダプターを取り外してください。

工場出荷時設定に戻す

本機の設定を工場出荷時に戻すには、初期化スイッチで行う方法と Web ビューアーから行う方法があります。

本機の初期化スイッチで行う

すべての設定項目を工場出荷時の設定に戻すことができます。

・電源を再投入する場合

- 1** 電源を遮断する。
- 2** 本機の初期化スイッチ [INIT] を押しながら電源を供給する。
- 3** 起動 LED [POWER] が点滅してから 5 秒後に初期化スイッチ [INIT] を離す。

・再起動スイッチを使用する場合

- 1** 本機の初期化スイッチ [INIT] を押したまま、再起動スイッチ [RESET] を押して離す。
- 2** 起動 LED [POWER] が点滅してから 5 秒後に初期化スイッチ [INIT] を離す。

Web ユーザーから行う

Web ユーザーの [メンテナンス → 設定] の設定ファイルの初期化の「実行」ボタンをクリックすると初期化が開始され、その後本機は自動的に再起動します。詳細は、取扱説明書（設定編）をご覧ください。

メモ

以下の項目は工場出荷時の設定に戻りません。

- ・ IP アドレス取得方法
- ・ IP アドレス
- ・ サブネットマスク
- ・ デフォルトゲートウェイ

故障かな?と思ったら

起動しない

(起動 LED(緑)が点滅、点灯しない)

- ▶ 電源が入っているか確認してください。

[PoE 電源の場合]

- ・ PoE 対応のスイッチに接続してください。
- ・ スwitchの電源を入れてください。
- ・ スwitchの PoE 機能を有効にしてください。
- ・ PoE 対応ポートに接続してください。
- ・ 複数台接続する場合、スswitchの供給電力を超過しないようにしてください。

[DC12 V 電源の場合]

- ・ DC12 V の電源を接続してください。
- ・ 極性を正しく接続してください。

LINK/ACT LED(緑)が点灯しない

- ▶ ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。

ケーブルの種類 (カテゴリー、クロス/ストレート) とポートが適切か確認し、正しく接続してください。

カメラに接続できない

- ▶ **USB 端子の LAN アダプターの接続を確認してください。**

[スマートフォンで接続する場合]

USB 無線 LAN アダプター

[PC で接続する場合]

USB 有線 LAN アダプター

動作確認済みの USB LAN アダプターを使用してください。

詳しくは TOA 商品データダウンロードサイト(<https://www.toa-products.com/download/>) からカメラの品番で検索し、ご確認ください。

- ▶ **USB LAN アダプターを使用して画角調整を行っていませんか？**

USB LAN アダプターを使用した画角調整は、本機が起動してから 30 分間のみ有効です。

起動後、30 分以上経過している場合は、カメラを再起動してから、再度接続してください。

▶ 画角調整機能を利用済みではありませんか？

一度「画角調整を終了」ボタンで画角調整を終了すると、USB LAN アダプターを使用した接続はできなくなります。

本機の初期化スイッチを使用して工場出荷時設定に戻し* (P. 93)、再度接続してください。

* IP アドレスを含むすべての設定が工場出荷時に戻ります。

フォーカスが合わない

▶ レンズリフレッシュを行ってからもう一度オートフォーカスを行ってください。

ズーム・フォーカス操作を繰り返し行くと、オートフォーカスが合いにくくなる場合があります。

※「故障かな?と思ったら (設定編)」は、取扱説明書 (設定編) をご覧ください。

仕様

本機の仕様については、TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/download/>) で公開しています。

本機の品番を入力し、検索してください。

付属品

L 型レンチ.....	1
LAN ケーブル防水部品.....	一式

別売品

カメラ配線ボックス	: C-BK800B
カメラ天井埋込金具	: C-BK802U
屋外カメラ壁取付金具	: C-BK802W
屋外カメラポール取付金具	: C-BC450PM
ポール取付バンド	: YS-60B
配線ボックス使用	: C-BK800B + C-BC450PM + YS-60B
壁取付金具使用	: C-BK802W + C-BC450PM + YS-60B
カメラ用マイクユニット	: N-MC10
埋込型コンデンサーマイク	: EM-600
ユーザーライセンス	: N-UL5A、N-UL5H
オプションケーブル	: N-OP600CA
AC アダプター	: AD-1210-B

アフターサービスについて

保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点があれば、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

● 保証書

保証書は製品同梱の「はじめにお読みください」についています。必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

● 保証期間中に修理を依頼される時

取扱説明書をお読みになって、ご不明な点やご不審な点があれば、お買い上げの販売店にご連絡ください。お客様が修理することはできません。

もし、機器をあけたり、内部に手を触れた場合は、保証期間中であっても保証の対象から外れますのでご注意ください。

● 保証期間経過後に修理を依頼される時

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理致します。

● 連絡していただきたいこと

住所・氏名・電話番号・製品名・品番・購入日・故障の内容や異常の状況。

● 補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品の保有期間は、生産完了後 7 年間となっております。

保有期間内に補修用性能部品の入手が不可能な場合には、同等性能部品を供給させていただきます。

※ 補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル (固定電話専用) 0120-108-117
商品の内容や組み合わせ、操作方法についてのお問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日除く)	ナビダイヤル 0570-064-475 (有料) FAX 0570-017-108 (有料) ※ IP 電話からはつながりません。

商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。
最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ <https://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社